

ぐんま国際アカデミー 女子高生ヘアドネーション同好会

高校生ボランティア・アワード2022

思いよ届け！ 「幸福のウィッグ」

ヘアドネーション同好会は、全国各地から寄付していただいた髪の毛を小児がんの子供たちに医療用ウィッグとして無償で提供する活動をしています。アートネイチャー様のご協力のもと、ウィッグ制作しています。ウィッグ制作には3ヶ月ほどの期間がかかり、30人ほどの髪の毛で作ることができます。私達は多くの子供達に笑顔届けたく、この活動を2017年から始めました。始めた当初は2人でしたが、今では30人近くのメンバーと活動しており、週に一度みんなで楽しく活動しています。



「子どもたちに当たり前を」

私たちは髪の毛があるのが当たり前とってしまっていますが、世の中には病で髪の毛がないことをコンプレックスとして抱えている子どもも多くいます。一人でも多くの子どもたちの、髪の毛に対する悩みを解決したい。小さな体で病と戦う子どもたちに笑顔になってほしい。この思いを届けるために私たちは髪の毛を集め、アートネイチャーさんの協力、子どもたちに無償でウィッグの提供をすることができました。多くの子供達にウィッグを通して笑顔になってもらいたい。その思いを胸に、これからも活動を続けてきています。

「一人でも多くの子どもたちにウィッグを」

～私たちの活動（活動の詳細）～

1

・全国各地から髪の毛が学校に送られてきます（毎週100通ほど送られてきます！）



・学校の生徒さんや先生を中心に断髪式を行います



・髪の毛を31cm未満と以上のものに仕分けします。（31cm未満のものは前髪などの部分的な部位として使われます！）



・送られてくる封筒の中に切手やハガキの寄付、お手紙やお菓子が入っていることがあります



2

3

・髪の毛を送ってくださった方にお礼のお手紙を書きます（手紙は手書きで一枚一枚丁寧に仕上げています）



・上部の部員はその後、住所や名前に誤りがないか再度確認する作業をします

4

・仕分けた髪をアートネイチャー様にお送りします



・ウィッグを提供する方の頭の採寸をします（活動開始時から現在までに、すでに11個のウィッグを提供することができました！）

5

・広報では公式ホームページを作成したり、公式Instagramや公式Twitterを通して活動報告を行っています



今年も新型コロナウイルスの影響で思うように活動はできませんでしたが、コロナ禍の中でも感染対策をしながら、ウィッグを提供することができました。

「頭皮に悩みを抱える子どもたちに幸福のウィッグを」

今年もありがたいことに、全国の皆様、そして海外からも髪の毛の寄付や応援のお言葉が届きます。その中には私達の活動を何かしらの形で初めてヘアドネーションして下さった方や、前にもヘアドネーション同好会に寄付して下さった方など様々です。どの方たちもそれぞれの思いを抱いて寄付に踏み出してくれています。応援の気持ちとともに寄付して下さった方、大切な方をなくされた方、髪の毛に困っている方が身近にいる方からも寄付をいただくことがあります。そのため、寄付していただいた髪の毛だけでなく、こういった多くの応援と思いと共にウィッグを提供することが私達の役目であると信じています。私達はこれからもこの活動を広めていき、多くの方の思いと髪の毛を預かる責任を全うし、少しでも多くの子どもたちの笑顔の理由になりたいと思います。



受賞歴

- ・高校生ボランティアアワード2018
来場者最高投票賞
さだまさし賞
- ・高校生ボランティアアワード2019
来場者最高投票賞
- ・高校生ボランティアアワード2020
名古屋国際会議場賞

活動開始年： 2017年4月

ウィッグ第一号目提供： 2018年3月

伊谷野代表
廣瀬部長（3年）